

## 地域共生社会演習

[演習] 第2学年～第3学年 通年 選択 2単位

《担当者名》 大原 裕介 ( 客員 ohara@yu-yu.or.jp ) 近藤 綾香 ( 非常勤講師 ) 酒井 美結 ( 非常勤講師 )

### 【概要】

本科目は、地域における高齢や障害、病気や生活困窮など、自分とは異なる経験や暮らしをする人に対する自分の正義や価値観を養うグループワークを実施する。これらの力をベースに地域における実践的な思考や手法を養うため、地域に足を運び、ニーズを適切かつ俯瞰的に把握するための調査演習や把握されたニーズをもとに、事業構想をしていくための演習を実施する。

また、構想を実現可能な事業として展開していくために社会資源の活用手法を学び、履修生自らの事業運営及び事業の成果報告プレゼンテーションを行う。

### 【学修目標】

1. 専門職としてベースとなる正義や価値観について学びを深める。
2. 当事者の行動理由や背景を推測し、多様性を理解するとともに、こういったニーズがあるか調査し把握することができる。
3. 地域のニーズに基づき、新たな社会資源を開発するための様々な思考や手法 ( 協働的な実践視点等 ) を身につけることができる。

### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部 ( 研究科 )、学環、学校の授業実施方針による

### 【ディプロマポリシー ( 学位授与方針 ) との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

### 【実務経験】

大原裕介 ( 社会福祉士 )

### 【実務経験を活かした教育内容】

社会福祉法人ゆうゆうの理事長としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。